

2023年10月26日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
三菱UFJ信託銀行株式会社

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが運用する 1GT Fund (Lux) SCSp への出資について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規）の連結子会社である三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 ^{ながしま いずお} 長島 巖、以下 三菱UFJ信託銀行）は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント（以下 MSIM）が運用する 1GT Fund (Lux) SCSp（以下 1GT ファンド）に、有限責任組合員として出資いたしました。

1GT ファンドは、MSIM が初めてグローバルに本格展開するインパクト投資ファンドです。電動化や再生可能化学物質、エネルギー効率化といった技術を有する企業など、気候変動問題に有益な役割を果たすグロースステージの未公開企業に投資することを通じて、2050年までに1ギガトンのCO₂e^[1]排出量の削減を目指します。

1GT ファンドの運用を行う MSIM は、グローバルな運用能力を活用しながら伝統的資産から非上場資産に至る幅広い資産クラスに投資をする、モルガン・スタンレーの資産運用業務部門であり、運用資産は約1.4兆米ドル（約205兆円）と、世界最大級の規模を有しています。また、提供するサステナブル投資は、運用プロセスの根幹にESG 要因を統合した運用戦略から、金銭的リターンとともにポジティブ・インパクトを目指すテーマ型戦略まで、多岐にわたります。MSIM は、モルガン・スタンレーのリソースを活用し、投資先企業への付加価値の高い関与を通じて、サステナビリティの実践と成果の改善を促すことを目指しています。

三菱UFJ信託銀行は、MUFG アセットマネジメント（以下 MUFG AM）^[2]の一員として、「MUFG AM サステナブル投資ポリシー」を採択しています。MUFG AM は、サステナブル投資が長期的なリスク・リターンを改善しつつ環境・社会の課題を解決し、より良い未来を築くことに繋がるとの考えのもと、サステナブル投資理念「私たちの投資、サステナブルな未来へ」を掲げるとともに、受託者責任を全うすべく、アセットオーナーやステークホルダーと対話を重ねながら、サステナブル投資を推進します。

本出資を契機にこれらの活動をさらに強化するとともに、私たちの目指す姿である「安心・豊かな社会」の実現を目指していきます。

[1] 二酸化炭素を含めた、さまざまな種類の温室効果ガスの排出量をCO₂相当量に換算した数値

[2] MUFG アセットマネジメントは三菱UFJフィナンシャル・グループのアセットマネジメント会社である三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJアセットマネジメント株式会社、三菱UFJ不動産投資顧問株式会社、Mitsubishi UFJ Asset Management (UK) Ltd.、三菱UFJオルタナティブインベストメンツ株式会社から形成されるブランド名です

以上